

追跡

— あの質問のゆくえ —

雇用の場を創る知恵と工夫が必要だ

本町の人口が1万6,000人台になるのは、時間の問題になってきています。人口減少は町の存亡にもかかわり、若者が定着できる環境づくりは、雇用の場の確保が前提条件と考えますがどうですか。
平成17年12月定例議会

町長答弁

将来に向けてその基盤づくりをしていく

既存企業の事業拡大、企業の進出は、雇用の場の拡大、所得の向上、税源の確保など、あらゆる面で町の活性化につながるものと認識しています。税制上の優遇制度や工業用地の提供、人材の確保などに支援していきます。

どうなった



エナーテック株白鷹工場

町単独での企業立地の優遇制度として条例化はしていませんが、その状況に応じて期限付きで、「白鷹町企業立地促進事業実施要綱」や「白鷹町産業立地促進資金融資制度要綱」を定め、用地取得の助成や奨励補助金の交付、融資制度を新設し、企業誘致による工場の新設や既存企業の工場拡張の支援をしてきました。

がんばっています



シリーズ2 大滝明香さん

Q 就農した動機と時期

A 3年目です。手伝いの延長で今日に至ります。

Q 就農して感じたこと

A 牛の生命力の強さ、人に支えられていること。

Q 将来の夢

A いろんな所を旅してみたいです。



発行責任者・議長
船山 仁
広報委員
委員長
青木 彰 榮
副委員長・編集長
関 千鶴子
委員
守谷 丹吾
委員
菅原 隆男
委員
佐藤 京一
印刷・長谷川印刷

衆議院選挙は国民誰しもがたずをのんで見守った。政権交代を掲げた民主党の大きなうねりに有権者は動き50年以上も政権を担ってきた自民党が下野しました。ある新聞に「歴史的同時にえる出来事に遭遇するのは、生涯のうちでそうあるものではない。世の中が劇的に動いた時、時代を画する出来事に接した時など」と書かれてありました。まさに、世の中が劇的に動いた瞬間でした。

町の第4次総合計画も終盤を迎え仕上げの時期に入りました。今、第5次総合計画策定に向け基本となるまちづくりアンケート調査の実施、また各地区で座談会が開催されています。今後10年間のまちづくりをどうすすめるか町民目線に立ち安心安全なまちづくりをどうすすめるのか注視するところです。(菅原)

編集後記

